

# プラットフォーム会員ミーティング ～「プラットフォームの今後を考える」～



2021年7月30日

開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム事務局  
JICA ガバナンス・平和構築部 ガバナンスグループ 法・司法チーム  
企画役 三好 恭平

# プラットフォーム：概要

## ● 設立

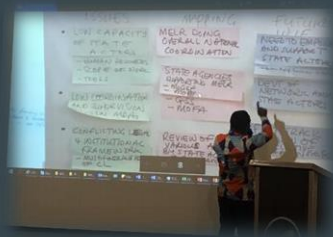
2020年1月

## ● 目的

開発途上国における社会的・経済的・環境的に持続可能な力カ才産業の実現に関心を有する本邦関係者間の協働を促進することを通じて、その実現を図る上での課題の解決を推進する。

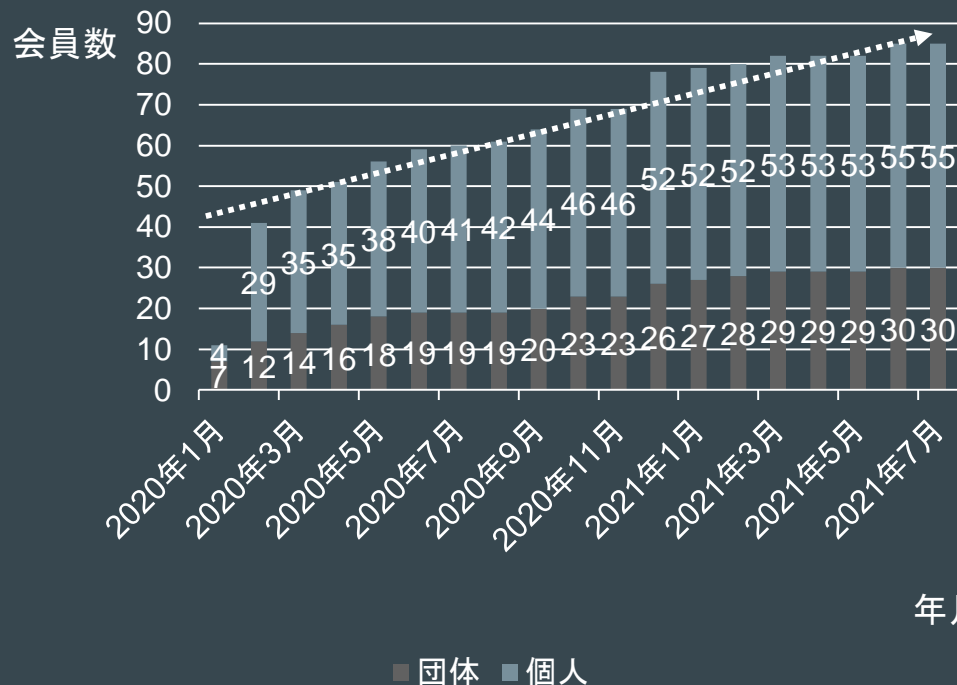
## ● 活動

- (1) 会員間の情報・経験の共有
- (2) 会員間の協働の促進
- (3) 国内外に対する発信 等



# プラットフォーム会員数推移：徐々に増加中

2020年1月～2021年7月の会員数推移



- 団体（30）と個人（55）あわせて85会員
- 設立以来、徐々に増加中
- 会員の関心テーマ・地域等は後ほどのプレゼンでご紹介

# プラットフォーム設立以降の歩み：社会課題の提示と情報発信

2020年1月	「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」設立
2020年2月	一般公開イベント「SDGsとチョコレート持続可能な未来のためにできること」（134名参加） <ul style="list-style-type: none"><li>・コレクティブ・インパクトの事例紹介（チェンジ・エージェント）</li><li>・サステイナブル・カカオに関連した企業・NGOの取り組みのご紹介</li><li>・プラットフォーム立上げのご紹介</li></ul>
2020年6月	ILO-JICA オンライン勉強会「児童労働とビジネス」（140名超参加） <ul style="list-style-type: none"><li>・2020年の「児童労働反対世界デー」を記念し開催。</li><li>・ILOとIOE（国際使用者連盟）が作成した「ビジネスのための児童労働の手引き」の紹介。</li><li>・プラットフォームの紹介</li></ul>
2020年9月	会員向けメルマガ配信開始！
2020年10月	JICAがガーナ「カカオ・セクターを中心とした児童労働にかかる情報収集・確認調査」開始 <ul style="list-style-type: none"><li>・ACE、アイ・シー・ネットによる調査</li><li>・児童労働フリーゾーンのパイロット活動を2郡で実施</li></ul> →活動情報はプラットフォームメーリングリストにて発信中
2020年11月	「とくしま国際消費者フォーラム2020」 <ul style="list-style-type: none"><li>・JICA理事からプラットフォームの設置やその目的についてビデオメッセージで発信</li></ul>

# プラットフォーム設立以降の歩み：社会課題の提示と情報発信

2020年12月

サステイナブル・カカオに関する勉強会（ウェビナー）（118名参加）  
・サステイナブル・カカオに関する社会課題として「ガーナ政府が進める児童労働フリーゾーン」「児童労働撤廃に向けた国際通商ルール」「エクアドル：サステイナブル・カカオ・バリューチェーン構築に向けた官民の取り組み」について会員からご発表

2021年3月

SHIBUYA QWS共催イベント「サステイナブル・カカオとは？－チョコレート選びの新たな視点－」（ウェビナー）（127名参加）  
・株式会社コータロー江澤さん、株式会社立花商店生田さん、NPO法人ACE白木さんより、サステイナブル・カカオ実現のための取り組みについてご紹介（無農薬&アグロフォレストリーカカオ、集約型発酵施設により低生産性・低収入へアプローチ、児童労働撤廃のための取り組み）→パネルディスカッション

2021年3月

児童労働撤廃国際年アフリカ地域キックオフイベント（アフリカ連合、ILO、アライアンス8.7共催）にてJICAが「2021 Action Pledge」を発表（プラットフォーム活動、ガーナでの児童労働フリーゾーン支援、ラオスでのILO連携調査）

2021年4月

エクアドル生産・貿易・投資・漁業省共催イベント「エクアドル・サステイナブル・カカオ国際フォーラム」（ウェビナー）（157名参加）  
・カカオ発祥の地とされるエクアドルから、「プレミアム&サステイナブル」をスローガンとしたブランド化、カカオの歴史、小規模農家への支援等についてプレゼンし、エクアドルカカオの魅力を発信

イベントの開催報告や発表資料は以下のプラットフォームウェブサイトからご覧いただけます  
<https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/index.html>

# これまでの活動と今後の活動：より双方向へと発展させたい

## ● これまでの活動

- カカオにまつわる社会課題の提示と情報発信
  - 一般公開イベント開催
  - 会員向けメルマガ配信

⇒幅広い層へのアプローチ、事務局主導

主にJICA/事務局発の  
コミュニケーション  
(単発、大規模、数カ月に1回)



## ● 今後の活動

- 個別 이슈の深掘りと課題解決のための活動
- 会員同士の連携促進・プラットフォーム活用

単発、大規模、  
数カ月に1回

+

**双方向**のコミュニケーション  
(継続、小規模、頻  
繁)

→本日のミーティングをきっかけにぜひ色々なアイデア・ご意見を頂戴したい

# 参考：プラットフォームの運営面：運営要領から

## ●会員（第3条）

本邦の関係省庁、政府機関、大学／研究機関、民間企業／業界団体、特定非営利活動法人、国際機関駐日事務所等の団体又は個人（第3条）

## ●プラットフォーム事務局（第11条）

事務局をJICAに置く。

事務局は以下を実施

- ・サステイナブル・カカオの現状や課題にかかる情報の収集と提供
- ・本会のウェブサイトの運営
- ・フォーラム（定例会）その他イベントの開催事務
- ・サステイナブル・カカオに関連するJICA事業への参画・寄附等に関する情報提供及び個別相談対応
- ・会員の登録等に関する事務
- ・その他、本会の運営を行うために必要な活動

## ●分科会（第10条）

本会は、会員の要望等に応じて、特定の地域・課題等を取組み対象とした分科会を設置することができる。また、分科会には、分科会の運営を行うために必要な活動を行う会員から成る委員会を置くことができる。

運営要領はカカオプラットフォームウェブサイトからご覧いただけます

[https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/ku57pq00002ls3ne-att/platform\\_points.pdf](https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/ku57pq00002ls3ne-att/platform_points.pdf)

# 分科会の事例： JICA食と農の協働プラットフォーム（JiPFA）

## |(4) 分科会

JiPFAでは、地域・国別、分野・作物別に13の分科会を立上げ、各種勉強会・イベントの開催や共同活動（研究・技術開発、民間企業等の海外展開、途上国及び日本の人材育成等）の企画・支援を行っています。各分科会の開催予定ならびに結果については、以下のリンクよりご確認ください。

- [1\) ASEAN・フードバリューチェーン（FVC）第二回分科会（2020年8月6日）の情報をアップしました。](#)
- [2\) ミャンマー 第一回分科会（2019年12月26日）の情報をアップしました（インドネシア分科会と合同開催です）。](#)
- [3\) 中南米・フードバリューチェーン（FVC）第六回分科会（2020年11月6日）の情報をアップしました。](#)
- [4\) アフリカ・フードバリューチェーン（FVC）第六回分科会（2021年2月17日）の情報をアップしました。](#)
- 5) アフリカ稲作（CARD）
- [6\) インドネシア 第一回分科会（2019年12月26日）の情報をアップしました（ミャンマー分科会と合同開催です）。](#)
- [7\) 農業機械 第五回分科会（2021年2月17日）の情報をアップしました（アフリカ・フードバリューチェーン第六回分科会と合同開催です）。](#)
- [8\) ゴマ 第一回分科会（2019年11月15日）の情報をアップしました。](#)
- [9\) 畜産・家畜衛生 第一回分科会（2019年7月30日）の情報をアップしました。](#)
- [10\) 水産 第一回分科会（2021年3月25日）の情報をアップしました。](#)
- [11\) スマートフードチェーン 第三回分科会（2021年2月17日）の情報をアップしました。](#)
- 12) 人材育成
- [13\) 日本の地方創生 第二回分科会（2020年1月16日）の情報をアップしました。](#)

- 地域・国別（ASEAN、中南米等）、分野・作物別（農業機械、ゴマ等）に13の分科会を立ち上げ。
- 企業、政府関係機関からの活動報告、途上国政府関係者との意見交換会、JICAプロジェクトの活動報告等



# 本日の流れ

本日のご発表・ファシリテーターは、ボランティアとして手を挙げて頂いた会員有志の方々をお願いしています

